

# 滑石中学校 学力向上プラン

令和6年9月～令和7年7月

学校教育目標

自ら進んで学び、社会性と高い志をもった生徒の育成

学校経営スローガン

～支え合い・認め合い・学び合い・高め合い 4つの合いで大きく前進!!～

## 具体的な目標

- 自己肯定感を感じている生徒の割合…90%以上
- 将来の夢や希望をもった生徒の割合…80%以上
- 学力調査結果における正答率 全領域で、全国、県、市の平均以上

## 伸ばしたい力

- 基礎基本的な知識・技能
- 読解力
- 協働・対話力
- 主体性

### 学習の習慣化と基礎学力の定着のための取組

- わかる授業の実践
  - ・「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた教育活動
  - ・思考する場面、言語活動場面がある授業
  - ・「めあて」「まとめ」が子どもに届く授業の徹底
  - ・板書計画のある授業
  - ・生徒の実態に即した指導法
  - ・ユニバーサルデザイン教育
  - ・タブレットPCの全教科・領域での活用
- 学習規律の確立
  - ・支持的風土
  - ・滑石中スタンダードの共通実践
- 家庭学習の定着
  - ・予習・復習の習慣化
  - ・タブレットPCの持ち帰り
  - ・キュービナの活用
  - ・英検への取組
- モジュール学習と朝読書の実施

### 教育活動の充実

- 毎月の生活アンケートの実施と迅速な対応による積極的な生徒理解の実践
- 特別支援教育の視点の取り入れ
  - ・通級指導教室の活用と支援体制の充実
  - ・不登校対策の推進
- アセスの検証と活用
- 要支援生徒への支援体制の確立と実践
- 『キャリアパスポート』の活用
- 生徒会活動や行事における主体的活動の推進

### 研修の充実

- 研究授業の一人年1回以上の実施
- 職員の資質向上のための校内研修の充実
  - ・タブレットPCを有効活用するための研修
  - ・研究授業と授業研究を核にした学力向上研修
  - ・月1回の計画的な研修
- 各種学力調査の積極的活用
- 学校評価の積極的活用

## ◆学力調査（国・県・市）の結果から（R6年度）

<各教科の分析結果の共通点>

- ・全学年で全国や県の平均以上だったことから、基礎的な知識・技能は身に付いている。
- ・分からないところを自分で調べたり、工夫したりすることが苦手な生徒が多い。
- ・自分の考えを端的に表現し、根拠を明確にして書くことが苦手な生徒が多い。

## ◆学習状況調査結果（全国学力調査におけるアンケート調査結果から抽出）

項目	R5	R6
自分にはよいところがある	84.3%	91.9%
将来の夢や希望がある	60.0%	77.3%